

本件は環境省と同時発表です。

平成 22 年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術） 実証試験結果報告書及びロゴマークについて

平成 23 年 5 月 20 日
財団法人 日本塗料検査協会

日本塗料検査協会は、平成 22 年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）の実証機関として実証試験結果報告書を作成し、この度、環境省の承認を得ました。また、承認された各実証対象技術に対し、実証番号及び個別ロゴマークが交付されましたのでお知らせします。

1. 実証試験結果報告書について

平成 22 年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）において、当協会は「ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）実証試験要領」（第 3 版）に基づく実証試験を各実証対象技術（別紙参照）について実施し、25 件の実証試験結果を実証試験結果報告書として取りまとめ、環境省の承認を得ました。

今回、実証試験を行った各実証対象技術は、建築物（事務所、店舗、住宅等）に後付けで取り付けることができる外皮技術であり、室内冷房負荷を低減させることによって人工排熱を減少させる等、ヒートアイランド対策効果が得られるもの（ただし、緑化は除く）です。今回の実証試験により、空調負荷低減性能等について確認いたしました。

各実証対象技術の実証試験結果報告書の詳細等は、当協会ウェブサイトの環境省実証事業「ヒートアイランド対策技術分野（高反射率塗料）」の平成 22 年度実証試験に関するお知らせ、ウェブページ (<http://www.jpia.or.jp/Jpia/B24.htm>) に後日アップロードいたしますので、ダウンロードしていただきご参照願います。また、環境省環境技術実証事業ウェブサイトのヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）ウェブページ (http://www.env.go.jp/policy/etv/s05_c1.html) 及び実証技術情報（実証結果一覧）ウェブページ (http://www.env.go.jp/policy/etv/list_20.html) に後日アップロードされますので、そこから自由にダウンロードしていただくことができます。

なお、環境技術実証事業による環境技術の実証試験結果報告書は、環境技術の性能の

保証・認証・認可等を謳うものではなく、一定の条件下における環境技術の環境保全効果についてまとめたものです。各実証対象技術についての詳細等は、実証申請者へ直接お問い合わせください。

2. 個別ロゴマークの交付について

承認された実証試験結果報告書について、実証番号が付加された個別ロゴマークが各実証申請者（別紙参照）に対し環境省より交付されます。環境省では、この度、実証ロゴマークについて、共通ロゴマーク（図1）のデザインを変更すると共に、各技術分野で個別ロゴマークを設定しました。本技術分野の個別ロゴマークは図2のとおりです。個別ロゴマークは、実証試験結果報告書概要版1ページ目上部及び同報告書詳細版の表紙に掲載しています。



図1：共通ロゴマーク（新）



縦型



横型

図2：本技術分野の個別ロゴマーク

3. 参考

(1) 本事業の成果の公表について

本事業の成果については、当協会ウェブサイト及び環境省ウェブサイトで公表するほか、各種展示会等においても紹介されています。昨年度は、平成22年10月13日（水）から15日（金）開催の「すまい・建築・都市の環境展 ecobuild2010」に環境技術実証事業で出展されました。

(http://www.nikkan.co.jp/eve/ecobuild/common/pdf/2010_result.pdf)

(2) 背景・経緯

環境技術実証事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証することにより、環境技術を実証する手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的とするものです。

本技術分野では、ヒートアイランド対策技術のうち、「建築物外皮による空調負荷低減等技術」*の実証試験を行っています。

※建築物（事務所、店舗、住宅等）に後付けで取り付けることができる外皮によって室内冷房負荷を低減させ、人工排熱を減少させる技術があります。代表的なものとして、窓ガラスの遮蔽性能を向上させる窓用日射遮蔽フィルムや建築物の屋根・屋上の日射反射率を高める屋根・屋上用高反射率塗料があります。これらは、既存の建築物に適用が可能である、大規模な工事を必要としない、屋上緑化等の技術と異なり建物への荷重が問題とならない等の理由により、他のヒートアイランド対策と比較して導入が容易な技術といえます。



問い合わせ先

財団法人 日本塗料検査協会
東支部

担当：小川

電話：0466-27-1121

FAX：0466-23-1921

E-mail：ogawa@jpia.or.jp

■ 関連ホームページ： <http://www.jpia.or.jp>

平成 22 年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野
 (建築物外皮による空調負荷低減等技術) による実証対象技術及び実証番号の一覧

〈高反射率塗料[建築物の屋根(屋上)に日射反射率の高い塗料を塗布する技術]〉

実証申請者名	実証対象技術名	実証番号
有限会社クリーンテックサービス	水性ドリームアースコート F(フッ素)TYPE	051-1034
	株式会社阪築建創： 水性ドリームアースコート F TYPE*	
	株式会社 丸協：水性シリカクール F TYPE*	
	株式会社 クリーンテックジャパン： 水性アサンコート F TYPE*	
	有限会社 マイコーポレーション： 水性絆 F TYPE*	
ダイトー技研株式会社	ダイクール	051-1035
AGCコーテック株式会社/ 株式会社大林組	ボンフロン水性サンバリアSR	051-1036
有限会社 伊東産業	シポテックス クール工法®	051-1037
日本特殊塗料株式会社	ユータックシリカ遮熱	051-1038
	プルーフロン GR トップ遮熱	051-1039
九州大日精化工業株式会社	クールライフDX	★ 051-1040
スズカファイン株式会社	クールトップ Si	051-1041
	クールトップ#3000N	051-1042
	クールトップ#3500N	051-1043
	株式会社イーテック：JLCトップV*	
	クールトップ#300Si	051-1044
	株式会社イーテック：JLCトップHV*	
	ワイドシリコン遮熱	051-1045
	水性ボウスイトップCOOL	051-1046
	クールトップホドウ	051-1047
関西ペイント株式会社	<u>アレスクール1液F</u>	051-1048
	<u>アレスクール水性F</u>	051-1049
	<u>アレスクールワン</u>	051-1050
	<u>アレスクール水性Si</u>	051-1051
	<u>アレスクール1液Si</u>	051-1052
	<u>アレスクール2液Si</u>	051-1053
株式会社ミラクール	ミラクール F200	051-1054
大倉ケミテック株式会社	<u>ウルトラサーム Jグレード</u>	051-1055
株式会社 トウペ	トアスカイコートシャネツSi	051-1056
	トアスカイコートシャネツF	051-1057
菊水化学工業株式会社	<u>ロードクール</u>	051-1058

注) 二重下線は平成 22 年度内に実証対象技術の名称が変更されたことを示し、また星印(★)は、同年度内に OEM 提携等の変更がなされたことを示す。

*: 斜体表記(企業名: 製品名・型番号)の実証対象技術名は、同一規格製品(OEM 製品)を示す。